

1 開催日時

平成25年1月11日（金）午後2時から

2 開催場所

会議棟第4会議室

3 出席者

委員：鈴木委員長 小泉委員 土田委員 武石委員 真如教育長
事務局：阿部学校教育部長 石井学校教育部参事 小俣社会教育部長
岡田統括指導主事 田代学校教育課長 福嶋庶務係長

4 協議項目

- (1) 東大和市教育委員会会議規則の一部改正について
- (2) 東大和市教育委員会傍聴規則の一部改正について
- (3) 東大和市教育委員会の教育目標及び平成25年度東大和市教育委員会の基本方針について

5 会議の要旨

- (1) 東大和市教育委員会会議規則の一部改正について

①主な説明

- ・第11条には、会議の時間を午前9時から午後5時までと定めているが、その時間以外でも会議の開催が可能であることを明確にするために、時間の変更が可能となる旨の規定を追加する。
- ・第25条には、採決の方法を定めているが、現状の取扱いを明確にするために第3項として、「委員長は、議題につき異議の有無を会議に諮り異議はないと認めたときは、第1項の規定にかかわらず、直ちに可決の旨を宣言することができる」旨を追加する。
- ・請願が提出されたときは、請願法の規定により事務処理を行っているが、教育委員会において請願及び陳情の取扱いを明確にするために請願及び陳情についての章を第7章として追加する。

②主な内容

- ・会議の場所及び日時は、会議に付議すべき事件とともに委員長があらかじめ告示しなければならない。ただし、急を要する場合はこの限りでない旨第2条に定めがあり、市役所及び南街市民センターの掲示板に事前に告示している。

- (2) 東大和市教育委員会傍聴規則の一部改正について

①主な説明

- ・第4条には、傍聴席における傍聴人の守らなければならない事項を定めているが、傍聴人が写真撮影、録画及び録音を行ったり、携帯電話等を使用

した場合に、議事進行の妨げとなるため、写真撮影、録画及び録音をしないこと、ただし、あらかじめ委員長の許可を得たときはこの限りではないこと及び携帯電話等(通信回線に接続した機器等を含む)の通信機器を使用しないことの旨の規定を追加する。

②主な内容

- ・報道機関は傍聴人に含まれ、写真撮影等の特別な取扱いについては、委員長の許可を得ることとする。

(3) 東大和市教育委員会の教育目標及び平成25年度東大和市教育委員会の基本方針について

①主な説明

- ・平成25年度改訂用(1次案)の東大和市教育委員会の教育目標についての変更部分は特になし。
- ・平成25年度東大和市教育委員会の基本方針1、「いじめ・不登校の対策」について、教育センターの活用、学校への訪問指導・巡回相談等により、教育相談機能の充実を図ることと、いじめの根絶に向けて万全の対応を期す旨を明記する。
- ・基本方針2、「才能を伸ばすための多様な教育手段」について、児童・生徒に対する一貫性のある指導を行うため、各学校種間のつながりや学校間の連携の重視について文言を整理する。
- ・「読書教育の推進」について、東大和市子ども読書活動推進計画が策定されたことに伴い、これに基づいた教育を推進する。
- ・「職場体験学習の充実」について、今までニート、フリーターと記載していた部分を、「職業について考えることや、職業の選択、決定を先送りにしたり、自立的な進路選択や将来計画が希薄なまま進学、就職したりする若年者の増加の傾向に対し」と分かりやすく記載する。
- ・「環境教育の推進」について、環境保全活動及び環境教育と記載していた部分を「環境や環境問題に対する興味・関心を高め、必要な知識・理解・態度を身に付けさせる教育」と具体的な記載とする。
- ・基本方針4、「学校の組織的運営の確立」について、「学校教育の改善を推進するために、校長がリーダーシップを発揮し、マネジメントサイクルに従って学校経営方針に基づく教育活動が一層充実するように支援する。また、学校の組織的な取組、自主性・自律性の確立を図るよう支援する。」と文言を整理する。
- ・「学校施設等の整備」について、耐震化の促進が進められたことに伴い、これからの学校施設の計画的な改修・改善を推進することに修正する。
- ・「教育環境の整備」について、東大和市学校規模等あり方検討委員会から報告書が提出されたことに伴い、今後はこの報告書を基にして学校規模の適正化等に向けて対策の検討を進める。

②主な意見

- ・環境教育とは、学校により違いがあるが総合的な学習の時間や理科又は社会科で習い、自然の動物の生態やCO₂の問題などを学ぶことである。

- ・あいさつ運動などは、市でも取り組んでいることなので、どこかに記載すべきである。
- ・危機管理体制の中で、AED が設置されていると思うが、事が起きたときに対応できるか問題である。研修の時期を検討すべきである。
- ・理数科の教科では、専門の理科の先生に積極的に参加を呼びかけたらどうか。
- ・小・中連携教育の推進に記載のある内容の順番について再検討すべきである。
- ・食に関する教育について、どこかに記載すべきである。